

学校だより

翔 空

No. 7 平成24年 5月14日 (月)
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

「翔空」の由来

校舎のシンボル壁画である「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え、限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

◇ 「ならぬことはならぬ」今、なぜ？ ～会津藩校日新館の教育に学ぶ～

「什の掟（教え）」と聞けば、あの有名な「ならぬことはならぬ」であると誰もが思い出すでしょう。実は、先日、会津藩校日新館の館長である宗像 精（ただし）氏〔元会津若松市教育委員会教育長〕の書かれた文章を読む機会がありました。その中で、宗像氏は、

「今、少年たちの心から消えようとしているのは、『仁（他者への思いやりやいたわりの心）』と『義（人としての正しい道）』の二つの最も大切な精神である。この二つの精神が、このまま薄れていったらこの先どのような世の中になるか自明のことである。・・・きわめてわかりやすい道徳である儒教教育の見直し、同時に、学校における道徳教育の見直しが必要である。・・・この度の大震災をきっかけに、もう一度『ならぬことはならぬ』に学び、人間として恥ずかしくない『日本人の美しさ』を世界に示し、人類の平和に貢献したいものである。」と主張しています。

ちなみに、会津若松市は青少年の心を育てる市民行動プランとして「什の掟」の現代版「あいづっこ宣言」を策定し、推進運動を展開中です。（以下の通り）

あいづっこ宣言

- 一、人をいたわります
- 二、ありがとう ごめんなさいを言います
- 三、がまんをします
- 四、卑怯なふるまいをしません
- 五、会津を誇り年上を敬います
- 六、夢に向かってがんばります

◎ P T A 合同委員会がありました。

〔今年も親子奉仕作業を実施します。〕

過日（5月11日〔金〕）、P T A 合同委員会が開催され、各委員会の委員長の決定、年間計画及び予算案の計画について協議していただきました。

特に、放射線の影響などもあり懸念されている親子奉仕作業（6月16日〔土〕早朝）については、参加者に校長より理解を要請し、実施する方向で審議していただきました。詳細も施設委員会において協議なされましたので、6月に入ってから改めて保護者の皆様にご案内を差し上げたいと思います。草刈りや芝桜植え等を行います。

なお、合同委員会の席上でお伝えしたのですが、前P T A 会長からの要望でもあり、1月中旬頃から懸案となっていた中庭の芝生及び低木の除去工事は、ちょうど合同委員会実施日の午前中に終了し、以下のように放射線の低減化が図られたことをご報告いたします。

○ 除去工事前の数値 0.832 μ s v / h
(5月9日午前9:38)

○ 除去途中の数値 0.555 μ s v / h
(低木除去後、芝生刈り取り途中)

○ 工事完了後の数値 0.287 μ s v / h
(芝生除去、新しい土で覆った後)

ちなみに、学校周辺のホットスポットも数カ所あり、業者立ち入りによる除染作業が今後数度入ります。生徒には、トラロリがプ内には立ち入らないよう指導して参ります。並行して、プールの除染作業が今後計画されています。作業後の放射線量の数値を考慮し、屋外プールでの授業実施については、今後市教委との協議により判断されるものと思います。

【英語のことわざ】*真理を突いている珠玉の言葉*

どの国でも、昔から男の子はわんぱくなものというのが定番ですが、現在ではそうでもなさそうです。むしろ、わんぱくな子が年々減ってきていて、さみしい限りです。

→ "Boys will be boys."

直訳：男の子はいつまでも男の子。ラテン語の諺に「男の子はいつまでも男の子、子供っぽい遊びを好む」という同種のものがあります。

読み方：「ボーイズ ウィル ビー ボーイズ」



【大切な連絡】～保護者のご協力お願いします～

皆さんもご存じの来週月曜日の金環日食。朝の登校時間帯に見られるため学校としても事前の指導を行います。「とにかく、長い時間、くもりの天候であっても、裸眼で見たいいけない」そうなので、お子様に是非ご家庭でもお話ください。ひどい場合には、日食網膜症などになる怖れがあるそうです。送迎中の交通事故等にもご配慮ください。

